

## 第11節 景観

都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺には主要な眺望点及び景観資源が存在し、道路の存在による眺望景観への影響が考えられるため、景観の調査、予測及び評価を行った。

### 11.1 道路（地表式又は掘割式、嵩上式）の存在に係る主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観

#### 11.1.1 調査結果の概要

##### 1) 調査した情報

調査項目は以下のとおりとした。

- ・ 主要な眺望点の状況
- ・ 日常的な視点場の状況
- ・ 景観資源の状況
- ・ 主要な眺望景観の状況
- ・ 日常的な視点場からの景観の状況

##### 2) 調査の手法

###### (1) 既存資料調査

主要な眺望点の状況及び景観資源の状況については、既存の文献資料を収集・整理することにより把握した。

###### (2) 現地調査

主要な眺望景観の状況及び日常的な視点場からの景観の状況について、現地にて写真撮影により現況を視覚的に把握した。

また、主要な眺望景観の状況や景観資源の自然特性に関する情報が文献資料で不足している場合は、現地調査により情報を収集した。

###### 3) 調査地域及び調査地点

調査地域は、都市計画対象道路事業実施区域より3 km程度の範囲で、既存の文献資料等により主要な眺望点が分布する地域とした。また、生活上の眺望点を把握する観点から、有識者並びに地元住民へのヒアリング及び現地調査を行い、日常的な視点場になると考えられる地域についても調査した。

調査地点は、主要な眺望点及び日常的な視点場と景観資源との位置関係及び対象道路の位置などを踏まえ、主要な眺望景観及び日常的な視点場からの景観に変化が生じると想定される眺望点を設定した。

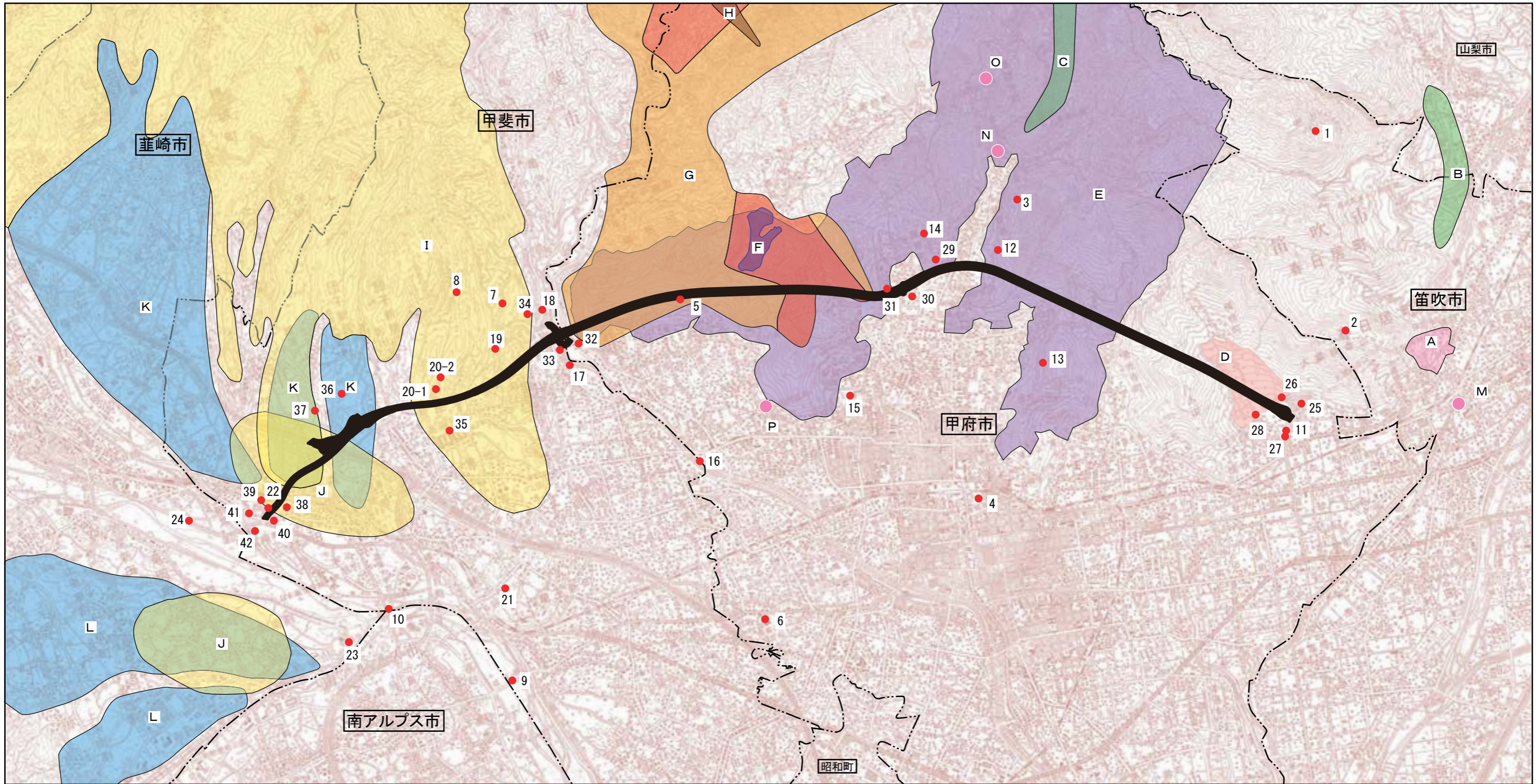
調査地点及び調査対象となる眺望景観は図8-11-1に示すとおりである。

#### 4) 調査期間等

調査時期は表8-11-1に示すとおりである。

表8-11-1 調査期間

調査期間
平成18年 3月20日～23日
平成18年 8月15日、16日
平成18年11月22日、24日、25日
平成19年 1月13日、18日
平成23年 6月29日
平成24年 5月 1日
平成24年 6月14日



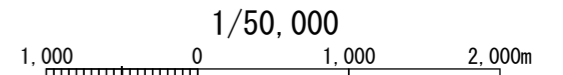
凡例

主要な眺望点・日常的な視点場		
1	兜山	18
2	大蔵経寺山	19
3	上積翠寺展望地	20-1
4	舞鶴公園	20-2
5	みゆきの森みはらし広場	21
6	県立美術館	22
7	梅の里公園	23
8	サントリー山梨ワイナリー	24
9	信玄橋	25
10	双田橋	26
11	斜面の果樹園の景観	27
12	棚田からの景観	28
13	愛宕山スカイライン沿いの眺望景観	29
14	高台からの景観・坑口斜面の景観	30
15	緑が丘公園	31
16	千松橋	
17	荒川河川敷公園	
18	県道敷島竜王線(富士山が見える場所)	32
19	道路からの景観(大久保地区)	33
20-1	大笠地区高台からの景観その1	34
20-2	大笠地区高台からの景観その2	35
21	ドラゴンパーク	36
22	一橋陣屋跡前からの景観	37
23	親水公園	38
24	国道20号からの景観	39
25	東善寺墓地の西側	40
26	桜井町散策路	41
27	英和大学東側住宅地入口	42
28	英和大学北西の果樹園及び桜並木	
29	金峰神社付近及び神社北側の携帯電話アンテナ前	
30	古府中町第2号公園	
31	2号トンネル入口北側の農道	

主要な景観資源	
歴史景観	A 山梨岡歴史景観保全地区
山地(非火山性)景観	B 春日居断崖
農業景観	C 上積翠寺-洞断崖
歴史文化公園	D 斜面の果樹園
湖沼	E やまなしの歴史文化公園
国立公園(普通地域)	F 千代田湖
国立公園(特別地域)	G 秩父多摩甲斐国立公園
特殊地学景観	H 登竜岩岩脈
火山景観	I 黒富士火山群
河川景観	J ハヶ岳南麓流れ山
	K 塩川(左岸)河成段丘
	L 釜無川(右岸)河成段丘

温泉景観	
M	石和温泉
N	要害温泉
O	古湯坊温泉
P	湯村温泉群

出典：「山梨の観光あんない 1998」平成10年  
社団法人山梨県観光連盟  
「山梨県自然環境保全図」平成17年  
山梨県森林環境部みどり自然課  
各市町村の観光パンフレット



----- 市町界  
 厚線 都市計画対象道路事業実施区域

図8-11-1 道路の存在に係る主要な眺望点及び景観資源調査位置図

## 5) 調査結果

### (1) 主要な眺望点の状況

主要な眺望点の状況は、表8-11-2に示すとおりである。

表8-11-2 主要な眺望点の状況

番号	眺望点	計画路線からの距離	眺望点の状況	所在地
1	兜山	約3,400m	眺望点は兜山の山頂部に位置し、岩堂峠のハイキングコースから登る手軽なコースがある。眺望点周辺はアカマツ植林となっている。	笛吹市
2	大蔵経寺山	約1,200m	大蔵経寺山は笛吹市と甲府市の境界に位置し、奥秩父主脈の尾根の最南端にあたる。眺望点周辺は斜面下部が擁壁工、上部が法枠工で緑化されており、視界は開けている。下方には雑木林が広がる。	笛吹市
3	上積翠寺展望地	約1,870m	眺望点は、武田の杜遊歩道沿いに位置する。眺望点周辺はアカマツ林が広がっている。	甲府市
4	舞鶴公園	約2,700m	甲府駅南の甲府城址を利用した公園で、眺望点は、園内の高台に位置する。園内は桜が植栽されており、城址の石垣や櫓のなど歴史建造物が多数残されている。	甲府市
5	みゆきの森みはらし広場	約1,400m	甲府市山宮町から千代田湖へ向かう道路の途中に展望広場が設けられている。広場には駐車場やベンチなどの施設がある。	甲府市
6	県立美術館	約4,300m	眺望点は、甲府市芸術の森公園内の美術館敷地内に位置する。眺望点周辺には多くの彫刻が設置されている。	甲府市
7	梅の里公園	約890m	眺望点は梅の里公園の高台に位置する。眺望点周辺は梅が植えられている。	甲斐市
8	サントリー山梨ワイナリー	約1,200m	サントリー山梨ワイナリー敷地内からの眺望点である。ワイナリーは観光案内等に記載されており、主要な観光地となっている。	甲斐市
9	信玄橋	約3,700m	眺望点は、南アルプス市と甲斐市を結ぶ南アルプス街道沿いに位置する。眺望点周辺は釜無川が広がっている。	甲斐市
10	双田橋	約1,900m	眺望点は、南アルプス市と甲斐市を結ぶ国道52号沿いに位置する。眺望点周辺は釜無川が広がっている。	甲斐市

注) 計画路線からの距離は、計画路線が視認される場合は視認される箇所の中で最も近い距離、視認されない場合は最も近接する明かり部からの水平距離を示す。地点毎の計画路線の可視、不可視については表8-11-7を参照。

(2) 日常的な視点場の状況

日常的な視点場の状況は、表8-11-3に示すとおりである。

表8-11-3(1) 日常的な視点場の状況

番号	眺望点	計画路線からの距離	眺望点の状況	所在地
11	斜面の果樹園の景観	約150m	甲府市桜井町に位置する。斜面の果樹園の景観を対象とした生活上の眺望点である。眺望点周辺は市街化されている。	甲府市
12	棚田からの景観	約1,350m	甲府市下積翠寺町に位置する棚田である。早春季には梅の花越しに甲府市街地を眺望できる。	甲府市
13	愛宕山スカイライン沿いの眺望景観	約2,140m	眺望点は、甲府市愛宕山を南北に通るスカイライン沿いに位置する。眺望点周辺は雑木林となっている。	甲府市
14	高台からの景観・坑口斜面の景観	約530m	甲府市塚原町の高台に位置する生活上の眺望点である。眺望点周辺は畑や雑木林となっており、甲府盆地を見渡すことができる。	甲府市
15	緑が丘公園	約1,300m	甲府駅北西に位置する緑が丘公園は甲府市の総合スポーツ公園施設として利用されている。眺望点は、生活上の視点として、甲府市北部の山脈を対象としている。	甲府市
16	千松橋	約2,200m	眺望点は、甲斐市と甲府市の市境で、荒川と甲府韮崎線が交差する位置にある。眺望点から、荒川の堤防沿いに桜並木が広がっている。	甲府市
17	荒川河川敷公園	約290m	荒川河川敷公園内に位置する生活上の眺望点である。公園内は芝生が敷かれており、サイクリングロード等が整備されている。	甲斐市
18	県道敷島竜王線（富士山が見える場所）	約330m	眺望点は、敷島総合公園東に位置する。敷島竜王線は、山梨県の主要な観光地であり、地域を代表する景勝地である昇仙峡への途中経路に含まれる。	甲斐市
19	道路からの景観（大久保地区）	約300m	高原団地東から敷島総合スポーツ公園へ向かう道路上に位置する生活上の眺望点である。周辺は梅畑が広がっている。	甲斐市
20-1	大袋地区高台からの景観その1	約100m	甲斐市北部大袋地区の高台に位置する生活上の眺望点である。眺望点周辺は桃園が広がっている。	甲斐市
20-2	大袋地区高台からの景観その2	約300m	甲斐市北部大袋地区の高台に位置する生活上の眺望点である。眺望点周辺は桃園が広がっている。	甲斐市

注) 計画路線からの距離は、計画路線が視認される場合は視認される箇所の中で最も近い距離、視認されない場合は最も近接する明かり部からの水平距離を示す。地点毎の計画路線の可視、不可視については表8-11-7を参照。

表8-11-3(2) 日常的な視点場の状況

番号	眺望点	計画路線からの距離	眺望点の状況	所在地
21	ドラゴンパーク	約2,500m	眺望点はドラゴンパークの展望台である。ドラゴンパークは甲斐市の主要な公園として様々な目的で利用されている。	甲斐市
22	一橋陣屋跡前からの景観	約50m	甲斐市宇津谷地区の住宅地内に位置する生活上の眺望点である。眺望点は甲斐市指定文化財一橋陣屋跡の前に位置している。	甲斐市
23	親水公園	約1,800m	韮崎市東端の釜無川右岸に位置する生活上の眺望点である。公園は釜無川の高水敷を利用して整備されており、グラウンドや広場がある。	韮崎市
24	国道20号からの景観	約850m	韮崎市東端の国道20号上に位置する生活上の眺望点である。眺望点周辺は畑や水田となっており、その中に商業施設が点在している。	韮崎市
25	東善寺墓地の西側	約170m	東善寺墓地の西側の生活上の眺望点である。周辺には果樹園が広がる。	甲府市
26	桜井町散策路	約105m	国道140号（西関東連絡道路）北側から西側の果樹園へ向かう散策路上の生活上の眺望点である。眺望点周辺はクリ・コナラ等の雑木林が広がる。	甲府市
27	英和大学東側住宅地入口	約140m	国道140号（西関東連絡道路）から英和大学東側の住宅地へ向かう歩道上の生活上の眺望点である。眺望点周辺には住宅地が広がる。	甲府市
28	英和大学北西の果樹園及び桜並木	約240m	英和大学北西の果樹園へ向かう農道上の生活上の眺望点である。眺望点の周辺は果樹園が広がり、右手に大山沢川が流れる。	甲府市
29	金峰神社付近及び神社北側の携帯電話アンテナ前	約200m	金峰神社付近の生活上の眺望点である。眺望点の前方に甲府市塚原町の住宅地が広がる。	甲府市
30	古府中町第2号公園	約80m	古府中町第2号公園前の眺望点である。眺望点の前に相川が流れ、その先に甲府市塚原町の住宅地が広がる。	甲府市
31	2号トンネル入口北側の農道	交差	甲府市塚原町の住宅地から北側へ伸びる農道上の生活上の眺望点である。眺望点の前方に甲府市塚原町の住宅地が広がる。	甲府市
32	県道7号（甲府市山宮 昇仙峡ライン）、県道101号（甲斐市牛匂 敷島竜王線）、を通過する区間	約40m	昇仙峡へ向かう県道7号（甲府市山宮昇仙峡ライン）上の生活上の眺望点である。眺望点の左手に果樹園がある。	甲府市

注) 計画路線からの距離は、計画路線が視認される場合は視認される箇所の中で最も近い距離、視認されない場合は最も近接する明かり部からの水平距離を示す。地点毎の計画路線の可視、不可視については表8-11-7を参照。

表8-11-3(3) 日常的な視点場の状況

番号	眺望点	計画路線からの距離	眺望点の状況	所在地
33	茅ヶ岳東部広域農道との複合影響が把握できる地点 (荒川サイクリングロード)	約60m	荒川右岸の遊歩道(荒川サイクリングロード)上の眺望点である。眺望点の右手には荒川が流れる。	甲府市
34	矢木羽湖	約400m	矢木羽湖東岸の遊歩道上の生活上の眺望点である。眺望点の前方には荒川が流れる谷が広がる。	甲斐市
35	高原団地 北側の公園付近	約370m	高原団地北側の公園前の生活上の眺望点である。眺望点の周辺は耕作地と果樹園が広がる。	甲斐市
36	太神神社西側	約330m	太神神社西側の農道上の生活上の眺望点である。眺望点の周辺は耕作地が広がる。	甲斐市
37	双葉スポーツ公園の北東端	約350m	双葉スポーツ公園北東端の遊歩道上の生活上の眺望点である。眺望点の周辺は公園敷地内の草地在り、近傍に東屋がある。	甲斐市
38	舟形神社北西	約80m	舟形神社北西側の生活上の眺望点である。眺望点の周辺は六反川沿いに水田が広がる。	甲斐市
39	市営田畑団地付近	約160m	妙善寺の裏手にある市営田畑団地付近の生活上の眺望点である。眺望点から見下ろす方向に甲斐市宇津谷の住宅地が広がる。	甲斐市
40	国道20号と六反川の交差点付近	約50m	国道20号と六反川の交差点付近の歩道上からの生活上の眺望点である。眺望点周辺には甲斐市宇津谷の住宅地が広がる。	甲斐市
41	県道6号 田畑交差点西	約110m	県道6号沿道からの生活上の眺望点である。眺望地点の周辺は耕作地になっており、耕作地を挟んだ先には国道20号の盛土法面がある。	甲斐市
42	国道20号新田畑交差点南側	約80m	塩川左岸側に位置する生活上の眺望点である。眺望点の背後には塩川があり、周辺は耕作地になっている。	甲斐市

注) 計画路線からの距離は、計画路線が視認される場合は視認される箇所の中で最も近い距離、視認されない場合は最も近接する明かり部からの水平距離を示す。地点毎の計画路線の可視、不可視については表8-11-7を参照。

### (3) 景観資源の状況

景観資源の状況は以下に示すとおりである。

#### a) 山梨岡歴史景観保全地区

位 置：笛吹市春日居町鎮目

規 模：東西約600m、南北約500m

標 高：約280～600m

資源特性：山梨岡神社境内とその裏山（御室山）一体が、県歴史景観保全地区として指定されている。山梨岡神社の本殿は国指定重要文化財に指定されている。

景観特性：見どころとなる時期は新緑や紅葉の時期である。

#### b) 春日居断崖

位 置：笛吹市春日居町徳条他

規 模：延長2.2km、比高平均20m、最高30m

標 高：300～330m

資源特性：春日居断層によりできたものである。断層面は認められないが、三角末端面が顕著である。

景観特性：特に見どころとなる時期はないが、旧春日居町の広い範囲から見る事が出来る。

#### c) 上積翠寺一洞断崖

位 置：甲府市上積翠寺

規 模：延長2.5km、比高平均50m、最高90m

標 高：600～1,000m

資源特性：相川の源流部にあり、岸壁、V字谷を形成する。奥千丈一積翠寺断層によるもので、黒雲母花崗岩を新第三紀鮮新世水ヶ森火山が覆う。

景観特性：特に見どころとなる時期はないが、断崖と松の散在する景観が特徴である。

#### d) 斜面の果樹園

位 置：甲府市横根町平林地区

規 模：南北約1.5km、東西約1km

標 高：約270～570m

資源特性：南向き斜面に広がるぶどう園で、大正時代に開墾された。石だらけの斜面を開墾し、そのとき出た石を積み上げ、段々畑を作り上げた。当初は養蚕が盛んで桑畑だったが、高度経済成長とともにぶどうなどへの改植が盛んに行われ、現在では農地の99%以上が果樹園で、そのほとんどがぶどう園となっている。

景観特性：周辺住民の日常的な風景となっている。



e) **やまなしの歴史文化公園**

位 置：甲斐市、甲府市、笛吹市

資源特性：計画路線周辺では、甲斐市の信玄堤の自然と歴史、慈照寺、山縣神社ほか、  
「信玄堤」、甲府市の武田氏館跡、円光寺、大泉寺、深草観音、  
子供の国、鳥獣センター、健康の森ほか「武田の杜・甲府城跡」として、  
笛吹市の山梨岡神社本殿、五大明王像、寺本廃寺、賀茂春日神社本  
殿、春日居町郷土館・小川正子記念館、兜山ほか「古代甲斐の里かす  
がい」として指定されている。

景観特性：資源分布が広域であるため、見どころとなる時期は様々であるが、桜や  
紅葉の時期が多い。

f) **千代田湖**

位 置：甲府市下帯那町

規 模：面積26ha

標 高：約550m

資源特性：荒川支流の帯那川沿いに設置された農業用ため池で、人工の池である。

景観特性：四季を通じて湖の景観を楽しむことができる。周辺は森林に囲まれ静か  
な山あいの湖の雰囲気醸し出している。

g) **秩父多摩甲斐国立公園**

位 置：山梨県、埼玉県、東京都、長野県

規 模：面積約12万6,259 ha

標 高：2,610m（最高部：北奥千丈岳）

資源特性：本公園内は金峰山一帯を除き、日本ではまれに見る水成岩山塊で、火山  
を含まず、火山国日本においては珍しい山岳地域である。また、これら  
の山脈は、荒川、多摩川、笛吹川（富士川）、千曲川（信濃川）などの  
源流域となっており、降り注いだ雨は、東京湾、駿河湾、日本海へと流  
れる。

景観特性：複雑な地形のために刻々と移り変わる稜線の風景、幽遠で清涼な溪谷、  
これらに森林植生のよさが加わり、新緑と紅葉が彩り鮮やかな美を競う  
景観は、日本を代表する風景のひとつとなっている。

#### h) 登竜岩岩脈

位 置：甲府市千田他

規 模：延長1.9km、比高40m

標 高：700m～740m

資源特性：特別名勝昇仙峡にある岩脈で複輝石安山岩が黒雲母花崗岩の割れ目に貫入したもので、板状節理が発達している。

景観特性：特に見どころとなる時期はないが、特殊な岩脈の地形が続いている。

#### i) 黒富士火山群

位 置：甲府市北西部、甲斐市北部他

規 模：長径18km、短径12.3km

標 高：350m～1,642.4m

資源特性：中期更新世の火山で火砕流堆積物と溶岩ドーム等からなる。南側の山麓には火砕流や泥流を主体とする広い火山性の裾野が段丘や丘陵をなしている。

景観特性：侵食を受けて切り立った溶岩や岩脈などの岩峰の景観が特徴である。

#### j) 八ヶ岳南麓流れ山

位 置：甲斐市南部、韮崎市

規 模：面積11.4km<sup>2</sup>

標 高：330m～862m

資源特性：24～20万年前に南八ヶ岳の南部にあった成層火山（権現岳付近）の一部が水蒸気爆発により破壊され、その山体の一部が成層構造を保持したまま山頂から山麓へ移動したものと考えられる。円または楕円の小丘（比高20～80m、径100～500m）を構成する。）

景観特性：特定の眺望地点は存在しないが、釜無川周辺の広い地域から眺望できる。

#### k) 塩川（左岸）河成段丘

位 置：韮崎市塩川左岸他

規 模：延長約18.8km、幅平均約2.8km、  
比高平均80m、面積約33.5km

標 高：370～1,020m

資源特性：塩川の左岸に発達した段丘で、4段の段丘が発達している。

景観特性：特定の眺望地点は存在しないが、塩川周辺の広い地域から眺望できる。

l) 釜無川（右岸）河成段丘

位 置：韮崎市釜無川右岸他

規 模：延長約22.1km、幅平均2.5km、比高平均90m、面積約32.5km<sup>2</sup>

標 高：370m～1,040m

資源特性：釜無川の右岸に発達した段丘で、4段の段丘が発達している。

景観特性：特定の眺望地点は存在しないが、釜無川周辺の広い地域から眺望できる。

m) 石和温泉

位 置：笛吹市石和町

規 模：面積約2.5km<sup>2</sup>、噴泉数96箇所

標 高：約258m～295m

資源特性：石和温泉駅前から笛吹川にかけて約50軒のホテル・旅館が点在する。石和温泉駅周辺はショッピングセンター等と温泉旅館が混在し、温泉街の雰囲気はあまりないが、近津用水（第二平等川）の両岸は温泉旅館や飲食店が並び、水路沿いも整備され温泉街の雰囲気を作り出している。

景観特性：特にみどころとなる時期はないが、近津用水沿いは、水路沿いに遊歩道が整備され、石和温泉周辺を眺めることができる。

n) 要害温泉

位 置：甲府市上積翠寺

規 模：400m<sup>2</sup>、噴泉数2箇所

標 高：560m

資源特性：武田信玄の隠し湯のひとつとされ、古湯坊温泉とあわせて積翠寺温泉ともよばれる。要害山の麓にある一軒宿であり、要害山登山口に位置する。

景観特性：特にみどころとなる時期はないが、要害山を背景に山あいの温泉の景観を楽しむことができる。

o) 古湯坊温泉

位 置：甲府市上積翠寺

規 模：面積300m<sup>2</sup>、噴泉数1箇所

標 高：700m

資源特性：武田信玄の隠し湯のひとつとされ、要害温泉とあわせて積翠寺温泉ともよばれる。

景観特性：特にみどころとなる時期はないが、相川の源流部、養曾沢の谷あいにある一軒宿で秘湯の雰囲気を醸し出している。

p) 湯村温泉群

位 置：甲府市湯村

規 模：面積 1 ha、噴泉数24箇所

標 高：400m

資源特性：弘法大師が開いた温泉との伝説があり、武田信玄も利用したと伝えられる。明治期に温泉旅館が建てられるようになり温泉街が形成された。平成18年時点で、15軒の旅館・ホテルがある。

景観特性：特定の眺望地点はなく、温泉街内部の不特定の地点からの景観が主体となる。温泉街内の道路は狭く、周辺住民の生活道路としても利用されている。

q) 甲府盆地

位 置：甲府市、笛吹市、甲斐市他

規 模：東西約25km、南北約15km

標 高：約250～400m

資源特性：北を関東山地とその前山に、西を赤石山脈の前山にあたる巨摩山地に、南を御坂山地に囲まれた三角形の盆地である。盆地内には釜無川と笛吹川がそれぞれ盆地の北西隅と北東隅から流入し、これらに沿って河成段丘が分布する。このほか荒川など多くの河川が新旧・大小の扇状地を形成する。

景観特性：特定の眺望地点は無く、盆地内や周辺の山地の広い範囲から眺望することができる。

r) 富士山

位 置：富士吉田市、鳴沢村他

規 模：長径29.5km、短径14.8km

標 高：3,775.6m（剣ヶ峰）

資源特性：国指定特別名勝。森林限界から1,000m以上の高さを持ち、周囲に伸びやかな裾野を広げる成層火山である。山腹には無数の小規模な溶岩流が急斜面に重なって貼りついており、周囲に広がる広大な裾野では、溶岩が20km以上の距離にわたって流れ重なっている。山体の北西及び南東側には多くの側火山が砕屑丘や溶岩流を噴出したため、等高線はこの方向に長径を持つ楕円形となっている。

景観特性：日本一高い山であるため、非常に広い範囲から見ることができ、富士山を見るための眺望地点も数多く存在する。

## s) 南アルプス

位 置：韮崎市、南アルプス市他

資源特性：仙丈ヶ岳、塩見岳、北岳、赤石岳等日本の代表的な山岳を連ねる。北アルプスと比較して新しく隆起した山であるため、浸食が進んでおらず、なだらかな山容となっている。大部分の山々は中生代白亜紀の砂岩・頁岩・粘板岩などの地層である。また、南アルプス国立公園に指定されている。

景観特性：山梨県内の高台等であれば、広い範囲から眺望することができる。

出典) 「日本の自然景観甲信越版」(平成元年9月 環境庁)

「日本の地形5中部」(平成18年6月 貝塚爽平ほか)

現地解説板等より

湯村温泉旅館協同組合ホームページ「<http://www.yumura.com/hotel/index.html>」

甲府ホテル旅館協同組合へのヒアリング

石和温泉旅館協同組合ホームページ「[http://www.isawaonsen.or.jp/index\\_2.html](http://www.isawaonsen.or.jp/index_2.html)」

甲府市ホームページ「<http://www.city.kofu.yamanashi.jp/contents/content/view/1452/192/>」

環境省自然保護局ホームページ「<http://www.sizenken.biodic.go.jp/park/np/chichibu/topics/12/syosai.html>」

山梨県ホームページ「<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kankou-sgn/21925643450.html>」

(4) 主要な眺望景観の状況

眺望点からの主要な眺望景観の状況は表8-11-4に示すとおりである。

表8-11-4 主要な眺望景観の状況

番号	眺望点	眺望景観の状況	視認できる景観資源
1	兜山	眺望点から富士山及び甲府盆地を眺望できる。	富士山 甲府盆地
2	大蔵経寺山	眺望点から富士山及び甲府盆地を眺望できる。	富士山 甲府盆地
3	上積翠寺展望地	眺望点からやまなしの歴史文化公園地域、甲府盆地及び南アルプスを眺望できる。	甲府盆地 やまなしの歴史文化公園 南アルプス 秩父多摩甲斐国立公園
4	舞鶴公園	眺望点からやまなしの歴史文化公園に含まれる甲府北部の山岳景観を眺望できる。	やまなしの歴史文化公園
5	みゆきの森みはらし広場	眺望点から富士山や南アルプス、甲府盆地を眺望できる。	富士山 南アルプス 甲府盆地
6	県立美術館	眺望点から秩父多摩甲斐国立公園及びやまなしの歴史文化公園に含まれる甲府市北部の山岳景観を眺望できる。	秩父多摩甲斐国立公園 やまなしの歴史文化公園
7	梅の里公園	眺望点から敷島総合公園越しに富士山を眺望できるほか、黒富士火山群の端部及び秩父多摩甲斐国立公園の端部を眺望できる。	富士山 黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立公園
8	サントリー山梨ワイナリー	眺望点からぶどう畑越しに甲府盆地と富士山を眺望できる。	富士山 甲府盆地
9	信玄橋	眺望点から釜無川越しに黒富士火山群、八ヶ岳南麓流れ山及び塩川（左岸）河成段丘を眺望できる。	黒富士火山群 八ヶ岳南麓流れ山 塩川（左岸）河成段丘
10	双田橋	眺望点から黒富士火山群を眺望できる。	黒富士火山群

(5) 日常的な視点場からの景観の状況

日常的な視点場からの景観の状況は表8-11-5に示すとおりである。

表8-11-5(1) 日常的な視点場からの景観の状況

番号	眺望点	眺望景観の状況	視認できる景観資源
11	斜面の果樹園の景観	眺望点から甲府市横根町の斜面の果樹園を眺望できる。	斜面の果樹園
12	棚田からの景観	眺望点から棚田越しに甲府盆地とやまなしの歴史文化公園地域及び南アルプスを眺望できる。	甲府盆地 やまなしの歴史文化公園 南アルプス 秩父多摩甲斐国立公園
13	愛宕山スカイライン沿いの眺望景観	眺望点からやまなしの歴史文化公園区域を眺望できる。	やまなしの歴史文化公園
14	高台からの景観 ・坑口斜面の景観	眺望点から甲府盆地を眺望できる。	甲府盆地
15	緑が丘公園	眺望点からやまなしの歴史文化公園に含まれる甲府北部の山岳景観を眺望できる。	やまなしの歴史文化公園
16	千松橋	眺望点から黒富士火山群の端部及び秩父多摩甲斐国立公園の端部を眺望できる。	黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立公園
17	荒川河川敷公園	眺望点から黒富士火山群の端部及び秩父多摩甲斐国立公園を眺望できる。	黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立公園
18	県道敷島竜王線 (富士山が見える場所)	眺望点から田園越しに富士山を眺望できるほか、視界の両端部に黒富士火山群及び秩父多摩甲斐国立公園の端部を眺望できる。	富士山 黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立公園
19	道路からの景観 (大久保地区)	眺望点からは西側に梅畑があるため、視界が一部狭められているが、富士山を眺望できる。	富士山
20-1	大袋地区高台からの景観その1	眺望点から桃園と共に富士山を眺望できる。	富士山
20-2	大袋地区高台からの景観その2	眺望点から桃園と共に富士山を眺望できる。	富士山
21	ドラゴンパーク	眺望点から黒富士火山群を眺望できる。	黒富士火山群
22	一橋陣屋跡前からの景観	眺望点から一橋陣屋跡に広がる田園と八ヶ岳南麓流れ山の一部が眺望できる。	八ヶ岳南麓流れ山
23	親水公園	眺望点から釜無川越しに黒富士火山群、八ヶ岳南麓流れ山及び塩川(左岸)河成段丘を眺望できる。	黒富士火山群 八ヶ岳南麓流れ山 塩川(左岸)河成段丘
24	国道20号からの景観	眺望点から富士山を眺望できる。	富士山

表8-11-5(2) 日常的な視点場からの景観の状況

番号	眺望点	眺望景観の状況	視認できる景観資源
25	東善寺墓地の西側	眺望点から甲府盆地及び斜面の果樹園を眺望できる。	甲府盆地 斜面の果樹園
26	桜井町散策路	眺望点から甲府盆地及び斜面の果樹園を眺望できる。	甲府盆地 斜面の果樹園
27	英和大学東側住宅地入口	眺望点から横根町の斜面の果樹園を眺望できる。	斜面の果樹園
28	英和大学北西の果樹園及び桜並木	眺望点から甲府盆地及び斜面の果樹園を眺望できる。	甲府盆地 斜面の果樹園
29	金峰神社付近及び神社北側の携帯電話アンテナ前	眺望点から甲府盆地及びやまなしの歴史文化公園を眺望できる。	甲府盆地 やまなしの歴史文化公園
30	古府中町第2号公園	眺望点からやまなしの歴史文化公園に含まれる甲府北部の山岳景観を眺望できる。	やまなしの歴史文化公園
31	2号トンネル入口北側の農道	眺望点からやまなしの歴史文化公園地域を眺望できる。	やまなしの歴史文化公園
32	県道7号（甲府市山宮昇仙峡ライン）、県道101号（甲斐市牛匂 敷島竜王線）、を通過する区間	眺望点から黒富士火山群の端部及び秩父多摩甲斐国立公園を眺望できる。	黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立公園
33	茅ヶ岳東部広域農道との複合影響が把握できる地点（荒川サイクリングロード）	眺望点から黒富士火山群の端部及び秩父多摩甲斐国立公園を眺望できる。	黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立公園
34	矢木羽湖	眺望点から富士山を眺望できるほか、黒富士火山群及び秩父多摩甲斐国立公園の端部を眺望できる	富士山 黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立公園
35	高原団地 北側の公園付近	眺望点から耕作地越しに黒富士火山群を眺望できる	黒富士火山群
36	太神神社西側	眺望点から耕作地越しに塩川（左岸）河成段丘を眺望できる。	塩川（左岸）河成段丘
37	双葉スポーツ公園の北東端	眺望点から塩川（左岸）河成段丘を眺望できる。	塩川（左岸）河成段丘
38	舟形神社北西	眺望点から田園越しに八ヶ岳南麓流れ山を眺望できる	八ヶ岳南麓流れ山
39	市営田畑団地付近	眺望点から草地と甲斐市宇津谷の住宅地越しに富士山を眺望できる。	富士山
40	国道20号と六反川の交差点付近	眺望点から甲斐市宇津谷の住宅地越しに八ヶ岳南麓流れ山を眺望できる。	八ヶ岳南麓流れ山
41	県道6号 田畑交差点西	眺望点から国道20号越しに南アルプスを眺望できる。	南アルプス
42	国道20号新田畑交差点南側	眺望点から耕作地及び国道20号越しに八ヶ岳南麓流れ山を眺望できる。	八ヶ岳南麓流れ山



## 11.1.2 予測の結果

### 1) 予測の手法

道路の存在に係る景観の予測は、「道路環境影響評価の技術手法 国土技術政策総合研究所資料第396号」（平成19年6月 国土技術政策総合研究所）に基づいて行った。

#### (1) 予測手順

道路の存在に係る景観の予測は、以下に示す項目毎に行った。

##### a) 主要な眺望点、日常的な視点場及び景観資源の改変

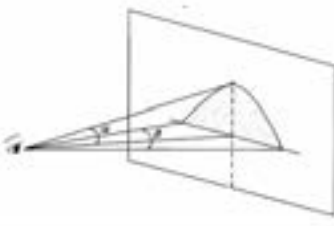
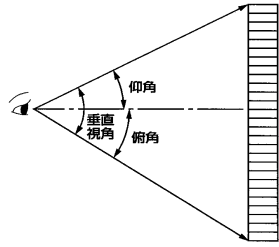
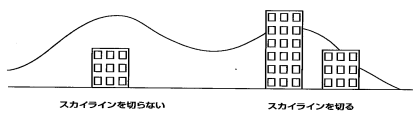
主要な眺望点、日常的な視点場及び景観資源と道路事業実施区域を重ね合わせ、図上解析することにより、改変の位置及び程度を把握した。

##### b) 主要な眺望景観及び日常的な視点場からの景観の変化

フォトモンタージュ法による視覚的な表現方法により、計画路線完成後の予想図を再現し、主要な眺望景観及び日常的な視点場からの景観の変化の程度を把握した。

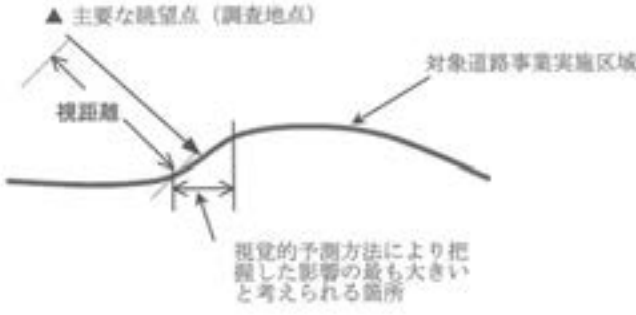
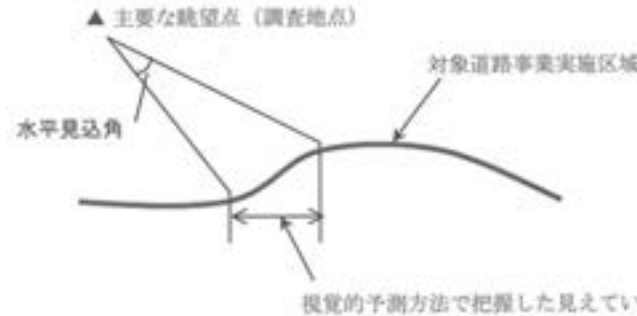
また、表8-11-6に示す視覚に関する物理的指標について整理するとともに、必要に応じて主要な眺望景観及び日常的な視点場からの景観の変化の程度を把握するための参考とした。

表8-11-6(1) 視覚に関する物理的指標

指標	内容	
視距離	<p>視距離によって施設などの認知を規定する要因（テクスチャー、色彩、形態等）が変化するので、保全水準の達成の程度の判定及び保全対策の立案の指標としても役立つ。</p>	<p>視距離により認知を規定する要因（テクスチャー、色彩、形態等）が変化するため、視距離にあわせ要因を抽出し、その変化及び影響の度合いを検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近景…対象の色彩、テクスチャー、ディテールが目につきやすい（500m程度以内）</li> <li>・中景…対象全体の形態がとらえやすく、対象が景観の主体になる（500m～3km程度）</li> <li>・遠景…対象が景観のごく一部となる（3km程度以遠）</li> </ul>
水平見込角	<p>視点からの対象の見えの大きさをあらわす指標で、視点から対象を見込む水平見込み角を指標値として用いる。</p>	<p>10度を超えると対象構造物は目立つようになる。</p>  <p><math>\alpha</math> : 垂直視角 <math>\beta</math> : 水平見込角</p>
仰角	<p>仰角とは、対象物の上端と視点を結ぶ線と水平線のなす角。構造物の見える面積とほぼ比例関係にある仰角を圧迫感の指標として用いる。仰角が大きいと圧迫感を感じる。</p>	<p>18度を超えると圧迫感を感じ始め、30度では対象物が全視野を占め圧迫感が残る。俯瞰景観において、10度付近が中心領域でその周辺が目につきやすくなる。</p>
俯角	<p>対象物の下端と視点を結ぶ線と水平線のなす角。俯瞰景観においては、俯角が目につき易さの重要な指標となる。</p>	
スカイライン切断の有無	<p>スカイラインは山が空を背景として描く輪郭線のこと。</p>	<p>スカイラインの連続性が切断される場合、景観上の支障が大きくなるとされている。</p>  <p>スカイラインを切らない      スカイラインを切る</p>

出典：「道路環境影響評価の技術手法 国土技術政策総合研究所資料第396号」  
（平成19年6月 国土技術政策総合研究所）

表8-11-6(2) 物理的指標の解析方法

指 標	解析方法
視距離	<p>①フォトモンタージュ等の視覚的予測手法を用いて、影響の最も大きいと考えられる箇所を把握する。</p> <p>②地形図に①で把握した箇所を示す。</p> <p>③主要な眺望点(調査地点)と②で示した箇所の距離を測定する。</p> 
水平見込角	<p>①フォトモンタージュ等の視覚的予測手法を用いて、対象道路事業実施区域の見えるている区間を測定する。</p> <p>②地形図に①で測定した区間を示す。</p> <p>③②で地形図上に示した区間の水平見込み角を測定する。</p> 
仰角・俯角	<p>①フォトモンタージュ等の視覚的予測手法を用いて、影響の最も大きいと考えられる箇所を把握する。</p> <p>②地形図に①で把握した箇所を示す。</p> <p>③主要な眺望点(調査地点)と②で示した箇所の標高データを地形図上で測定する。</p> <p>④③で測定した標高データと視距離より仰角(俯角)を算出する。</p>
スカイライン 切断の有無	<p>フォトモンタージュ等の視覚的予測手法を用いて、スカイラインの切断の有無を把握する。</p>

出典：「道路環境影響評価の技術手法 国土技術政策総合研究所資料第396号」  
(平成19年6月 国土技術政策総合研究所)

## 2) 予測地域及び予測地点

### (1) 主要な眺望点及び日常的な視点場からの景観資源の改変

予測地域は、調査地域のうち、主要な眺望点、日常的な視点場及び景観資源の改変が生じるおそれがある地域を選定した。

### (2) 主要な眺望景観及び日常的な視点場からの景観の変化

調査地域のうち、景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び日常的な視点場からの景観に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域とした。

予測地点の位置は表8-11-7及び図8-11-2に示すとおりである。

表8-11-7(1) 予測地点の選定（主要な眺望景観）

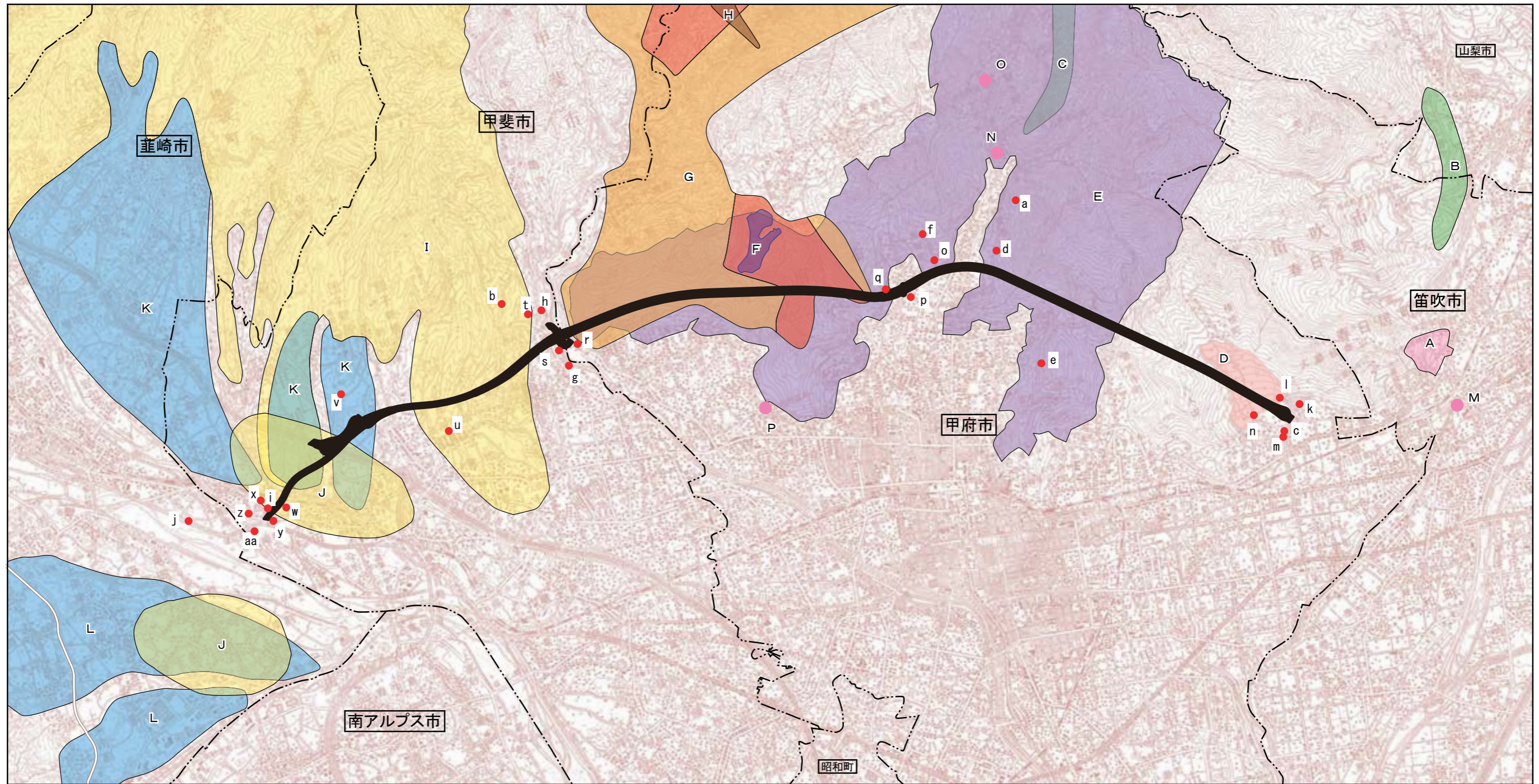
番号	眺望点	景観資源	対象道路の 可視・不可視	予測対象	予測番号
1	兜山	富士山、甲府盆地	不可視		
2	大蔵経寺山	富士山、甲府盆地	不可視		
3	上積翠寺展望地	甲府盆地 やまなしの歴史文化公園 南アルプス 秩父多摩甲斐国立公園	可視	○	a
4	舞鶴公園	やまなしの歴史文化公園	不可視		
5	みゆきの森みはらし広場	富士山、南アルプス、甲府盆地	不可視		
6	県立美術館	秩父多摩甲斐国立公園 やまなしの歴史文化公園	不可視		
7	梅の里公園	富士山、黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立公園	可視	○	b
8	サントリー山梨ワイナリー	富士山、甲府盆地	不可視		
9	信玄橋	黒富士火山群、八ヶ岳南麓流れ 山、塩川（左岸）河成段丘	不可視		
10	双田橋	黒富士火山群	不可視		

表8-11-7(2) 予測地点の選定（日常的な視点場からの景観）

番号	眺望点	景観資源	対象道路の 可視・不可視	予測対象	予測番号
11	斜面の果樹園の景観	斜面の果樹園	可視	○	c
12	棚田からの景観	甲府盆地、 やまなしの歴史文化公園、 南アルプス 秩父多摩甲斐国立公園	可視	○	d
13	愛宕山スカイライン沿いの眺望景観	やまなしの歴史文化公園	可視	○	e
14	高台からの景観・坑口斜面の景観	甲府盆地	可視	○	f
15	緑が丘公園	やまなしの歴史文化公園	不可視		
16	千松橋	黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立公園	不可視		
17	荒川河川敷公園	黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立公園	可視	○	g
18	県道敷島竜王線 (富士山が見える場所)	富士山、 秩父多摩甲斐国立公園、 黒富士火山群	可視	○	h
19	道路からの景観（大久保地区）	富士山	不可視		
20-1	大袋地区高台からの景観その1	富士山	不可視		
20-2	大袋地区高台からの景観その2	富士山	不可視		
21	ドラゴンパーク	黒富士火山群	不可視		
22	一橋陣屋跡前からの景観	八ヶ岳南麓流れ山	可視	○	i
23	親水公園	黒富士火山群、八ヶ岳南麓流れ 山、塩川（左岸）河成段丘	不可視		
24	国道20号からの景観	富士山	可視	○	j
25	東善寺墓地の西側	甲府盆地 斜面の果樹園	可視	○	k
26	桜井町散策路	甲府盆地 斜面の果樹園	可視	○	l
27	英和大学東側住宅地入口	斜面の果樹園	可視	○	m
28	英和大学北西の果樹園及び桜並木	甲府盆地 斜面の果樹園	可視	○	n
29	金峰神社付近及び神社北側の携帯 電話アンテナ前	甲府盆地 やまなしの歴史文化公園	可視	○	o
30	古府中町第2号公園	やまなしの歴史文化公園	可視	○	p
31	2号トンネル入口北側の農道	やまなしの歴史文化公園	可視	○	q
32	県道7号（甲府市山宮 昇仙峡ライ ン）、県道101号（甲斐市牛匂 敷島 竜王線）、を通過する区間	黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立公園	可視	○	r

表8-11-7(3) 予測地点の選定（日常的な視点場からの景観）

番号	眺望点	景観資源	対象道路の 可視・不可視	予測対象	予測番号
33	茅ヶ岳東部広域農道との複合影響 が把握できる地点（荒川サイクリン グロード）	黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立公園	可視	○	s
34	矢木羽湖	富士山 黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立公園	可視	○	t
35	高原団地 北側の公園付近	黒富士火山群	可視	○	u
36	太神神社西側	塩川（左岸）河成段丘	可視	○	v
37	双葉スポーツ公園の北東端	塩川（左岸）河成段丘	不可視		
38	舟形神社北西	八ヶ岳南麓流れ山	可視	○	w
39	市営田畑団地付近	富士山	可視	○	x
40	国道20号と六反川の交差点付近	八ヶ岳南麓流れ山	可視	○	y
41	県道6号 田畑交差点西	南アルプス	可視	○	z
42	国道20号新田畑交差点南側	八ヶ岳南麓流れ山	可視	○	aa



凡例

予測地点	
眺望地点	a 上積翠寺展望地
	b 梅の里公園
	c 斜面の果樹園の景観
	d 棚田からの景観
	e 愛宕山スカイライン沿いの眺望景観
	f 高台からの景観・坑口斜面の景観
	g 荒川河川敷公園
日常的な視点場	h 県道敷島竜王線(富士山が見える場所)
	i 一橋陣屋跡前からの景観
	j 国道20号からの景観
	k 東善寺墓地の西側
	l 桜井町散策路
	m 英和大学東側住宅地入口
	n 英和大学北西の果樹園及び桜並木
	o 金峰神社付近及び神社北側の携帯電話アンテナ前
	p 古府中町第2号公園
	q 2号トンネル入口北側の農道
	r 県道7号(甲府市山宮 昇仙峡ライン)、県道101号(甲斐市牛久 敷島竜王線)、を通過する区間
	s 茅ヶ岳東部広域農道との複合影響が把握できる地点(荒川サイクリングロード)
	t 矢木羽湖
	u 高原団地 北側の公園付近
	v 太神神社西側
	w 舟形神社北西
	x 市営田畑団地付近
	y 国道20号と六反川の交差点付近
	z 県道6号 田畑交差点西
	aa 国道20号新田畑交差点南側

主要な景観資源	
歴史景観	A 山梨岡歴史景観保全地区
山地(非火山性)景観	B 春日居断崖
農業景観	C 上積翠寺一洞断崖
歴史文化公園	D 斜面の果樹園
湖沼	E やまなしの歴史文化公園
国立公園(普通地域)	F 千代田湖
(特別地域)	G 秩父多摩甲斐国立公園
特殊地学景観	H 登竜岩岩脈
火山景観	I 黒富士火山群
河川景観	J ハヶ岳南麓流れ山
	K 塩川(左岸)河成段丘
	L 釜無川(右岸)河成段丘
	M 石和温泉
	N 要害温泉
	O 古湯坊温泉
	P 湯村温泉群

注) 下記に示す主要な景観資源は、その位置が調査対象区域外図示できないか、図内のほぼ全域に該当するため、本図に記載していない。  
Q: 甲府盆地 R: 富士山 S: 南アルプス

出典: 「山梨の観光あんない 1998」平成10年 社団法人山梨県観光連盟  
「山梨県自然環境保全図」平成17年 山梨県森林環境部みどり自然課 各市町村の観光パンフレット

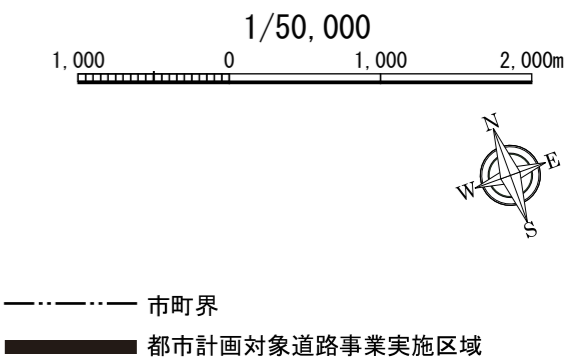


図8-11-2 道路(地表式又は掘割式、嵩上式)の存在に係る景観予測地域位置図

### 3) 予測の対象時期

予測の対象時期は、対象道路の完成する時期における主要な眺望点及び日常的な視点からの景観の利用状況（利用時期等）、景観資源の自然特性（見どころとなる時期等）を踏まえ、主要な眺望点、日常的な視点場、景観資源、主要な眺望景観及び日常的な視点場からの景観の影響を明らかにする上で適切な時期を設定した。

### 4) 予測結果

#### (1) 主要な眺望点、日常的な視点場及び景観資源の改変

主要な眺望点、日常的な視点場の改変については、都市計画対象道路事業の実施による改変はない。

景観資源の改変割合等は以下に示すとおりである。

#### a) 斜面の果樹園

景観資源である斜面の果樹園の面積は約58haであり、計画路線における改変面積はおよそ0.5haであるため、改変割合は0.9%程度である。

以上から、景観資源の改変面積はわずかであり、資源の価値を大きく損なうものではないと予測される。

#### b) 黒富士火山群

景観資源である黒富士火山群が分布する面積は非常に大きいため、総面積は不明である。なお、図8-11-2に図示している範囲の面積は約24km<sup>2</sup>である。また、計画路線における改変面積はおよそ0.14km<sup>2</sup>であり、図示範囲における改変割合は0.6%程度である。

以上から、景観資源の改変面積はわずかであり、資源の価値を大きく損なうものではないと予測される。

#### c) 八ヶ岳南麓流れ山

景観資源である八ヶ岳南麓流れ山が分布する総面積は11.4km<sup>2</sup>である。なお、図8-11-2に示す範囲に分布している八ヶ岳南麓流れ山の面積は約4.4km<sup>2</sup>である。また、計画路線における改変面積はおよそ0.13km<sup>2</sup>であり、図示範囲における改変割合は3.0%程度である。

以上から、景観資源の改変面積はわずかであり、資源の価値を大きく損なうものではないと予測される。



#### d) 塩川（左岸）河成段丘

景観資源である塩川（左岸）河成段丘が分布する総面積は33.5km<sup>2</sup>である。なお、図8-11-2に示す範囲に分布している塩川（左岸）河成段丘の面積は約10.5km<sup>2</sup>である。また、計画路線における改変面積はおよそ0.15km<sup>2</sup>であり、図示範囲における改変割合は1.4%程度である。

以上から、景観資源の改変面積はわずかであり、資源の価値を大きく損なうものではないと予測される。

## (2) 主要な眺望景観及び日常的な視点場からの景観の変化

都市計画対象道路事業の実施により景観の変化が生じると想定される眺望点において、フォトモンタージュ法により景観の変化の程度を予測した（物理的指標の解析経緯については資料編10.2参照）。

### a) 主要な眺望景観の変化

#### a. 上積翠寺展望地

本眺望景観は上積翠寺展望地から、南西方向に景観資源である甲府盆地、やまなしの歴史文化公園、南アルプス及び秩父多摩甲斐国立公園を眺望している。

対象道路のうち塚原IC付近のトンネル坑口部が視野に含まれるが、眺望点からの視野は狭く、可視の程度は小さい。

なお、物理指標による解析結果は表8-11-8に示すとおりである。

これらによると、対象道路は中景に位置しており、水平見込角は3.7度と構造物は目立ちにくい値となっている。俯角は8.1度と俯瞰景観においてやや目につきやすい角度となっている。ただし、上積翠寺展望地において最も重要と考えられる南アルプスの眺望にほとんど影響はなく、スカイラインの切断はないため、景観資源の眺望を阻害しないと予測する。

表8-11-8 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約1,870m
水平見込角	3.7°
俯角	8.1°
スカイライン切断	なし

現在の風景



将来の風景



改変される位置



撮影条件	
撮影日	平成18年11月22日
天候	晴れ
使用カメラ	NIKON D50
レンズ焦点距離	23.3mm
35mmフィルム 換算焦点距離	35mm

## b. 梅の里公園

本眺望景観は梅の里公園の高台から、南東方向に景観資源である富士山、黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園を眺望している。

対象道路のうち甲府市と甲斐市をつなぐ金石橋付近の坑口部が視野に含まれるが、可視の程度は小さい。

なお、物理指標による解析結果は表8-11-9に示すとおりである。

これらによると、対象道路は中景に位置しており、水平見込角は3.8度と構造物は目立たない値となっている。また、俯角は4.3度と俯瞰景観の中心領域から外れており、スカイラインの切断はないため、景観資源の眺望を阻害しないと予測する。

表8-11-9 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約890m
水平見込角	3.8°
俯角	4.3°
スカイライン切断	なし

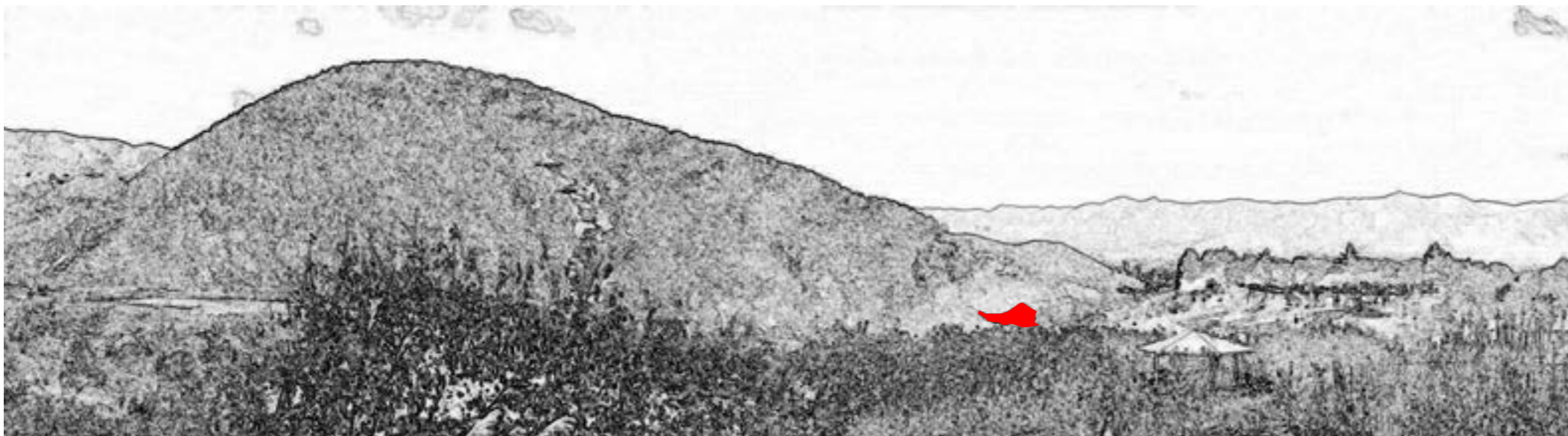
現在の風景



将来の風景



改変される位置



撮影条件	
撮影日	平成18年11月25日
天候	晴れ
使用カメラ	NIKON D50
レンズ焦点距離	23.3mm
35mmフィルム 換算焦点距離	35mm

b) 日常的な視点場からの景観の変化

c. 斜面の果樹園の景観

本眺望景観は桜井町から、北西方向に景観資源である斜面の果樹園を眺望する生活上の眺望点である。

対象道路は景観資源である斜面の果樹園の一部を通過し、視野に含まれる。

なお、物理指標による解析結果は表8-11-10に示すとおりである。

これらによると、対象道路は近景に位置しており、水平見込角は62.0度と構造物は目立つ値となっている。また、仰角は4.3度と構造物による圧迫感が生じず、スカイラインの切断はない。

フォトモンタージュ及び物理的指標による解析結果からは斜面の果樹園の景観に影響を及ぼし、橋梁構造は目立つものと予測する。したがって、景観の構造に変化が生じると予測する。

表8-11-10 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約150m
水平見込角	62.0°
仰角	4.3°
スカイライン切断	なし

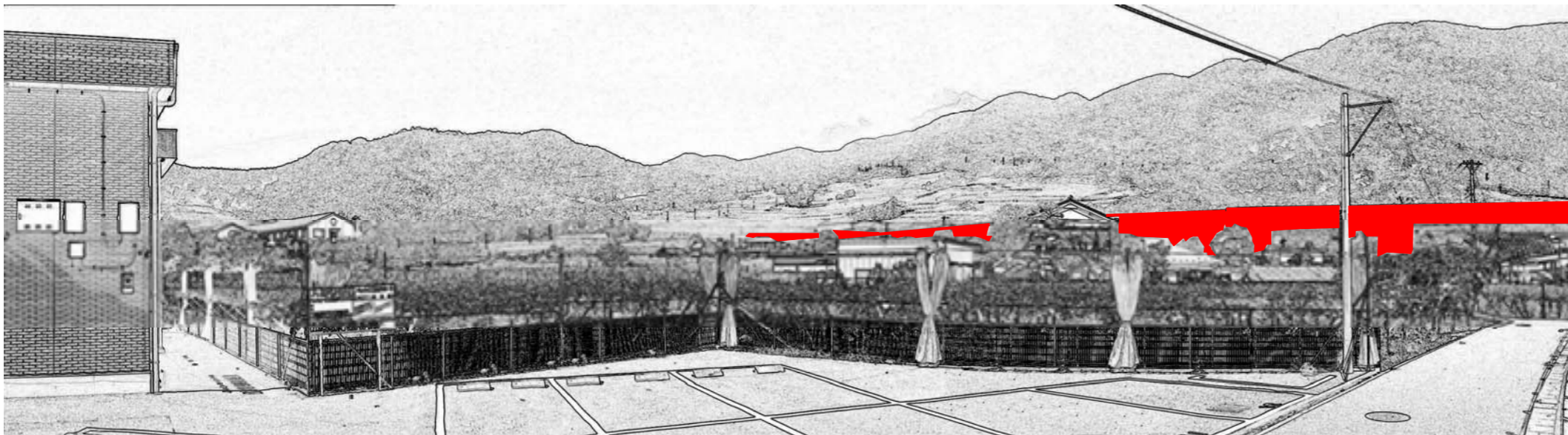
現在の風景



将来の風景



改変される位置



撮影条件	
撮影日	平成18年11月22日
天候	晴れ
使用カメラ	NIKON D50
レンズ焦点距離	23.3mm
35mmフィルム 換算焦点距離	35mm

#### d. 棚田からの景観

本眺望景観は上積翠寺町の棚田から、南西方向に景観資源であるやまなしの歴史文化公園、甲府盆地、南アルプス及び秩父多摩甲斐国立公園を眺望する生活上の眺望点である。

対象道路のうち塚原IC付近のトンネル坑口部が視野に含まれるが、可視の程度は小さい。

なお、物理指標による解析結果は表8-11-11に示すとおりである。

これらによると、対象道路は中景に位置しており、水平見込角は3.9度と構造物は目立ちにくい値となっている。また、俯角は4.9度と俯瞰景観の中心領域から外れており、スカイラインの切断はないため、眺望景観を阻害しないと予測する。

表8-11-11 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約1,350m
水平見込角	3.9°
俯角	4.9°
スカイライン切断	なし



現在の風景



将来の風景



改変される位置



撮影条件	
撮影日	平成18年11月22日
天候	晴れ
使用カメラ	NIKON D50
レンズ焦点距離	23.3mm
35mmフィルム 換算焦点距離	35mm

#### e. 愛宕山スカイライン沿いの眺望景観

本眺望景観は愛宕山スカイライン沿いの眺望点から、西方向に景観資源であるやまなしの歴史文化公園を眺望している。

対象道路のうち塚原IC付近のトンネル坑口部が視野に含まれるが、住宅等に溶け込みほとんど目立たないため、可視の程度は小さい。

なお、物理指標による解析結果は表8-11-12に示すとおりである。

これらによると、対象道路は中景に位置しており、水平見込角は1.4度と構造物は目立ちにくい値となっている。また、俯角は2.4度と俯瞰景観の中心領域から外れており、スカイラインの切断はないため、景観資源の眺望を阻害しないと予測する。

表8-11-12 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約2,140m
水平見込角	1.4°
俯角	2.4°
スカイライン切断	なし

現在の風景



将来の風景



変更される位置



撮影条件	
撮影日	平成18年11月22日
天候	晴れ
使用カメラ	NIKON D50
レンズ焦点距離	23.3mm
35mmフィルム 換算焦点距離	35mm